さくらてんし　ぎんなん　ぎんちゃん　しいたけ　たけちゃん　ゆずぼうや　フララ　フラくん　かりかり　モモコちゃん　あじさいひめ　森のモリくん　さんれい　さんちゃん　土佐打刃物　タンちゃん　物部　アユちゃん　龍河洞　リューくん　瀧のシブキちゃん　©やなせたかし

市民のひろば

掲示板

◆第12回土佐塩の道 30kmうぉーく

昔、香南市赤岡町から物部町まで塩を運んだ産業道を、当時を偲んで歩きます。昨年、**文化庁歴史の道**にも選ばれました。

【開催日】 3月21日（土）

【受付】 5時50分～

※小雨決行。予備日は3月22日。

【集合】 赤岡保健センター（香南市赤岡町1327）

【参加費】 7千円（名物塩の道弁当、参加賞、保険、バス代込）

【定員】 80人

【申込締切】 3月13日（金）

【問い合わせ・申込先】 (有) 香北観光トラベル ☎59・3393

◆のいち動物公園ボランティア募集

のいち動物公園では、来園される方に、園内や動物の情報を伝えていただくためのボランティアを募集しています。

【応募条件】

- 活動の趣旨に賛同できる方
- 令和2年4月1日時点で15歳以上の方
- 動物や自然環境に興味があり、学習意欲がある方
- 無償で参加できる方
- 説明会および研修に参加できる方
- 土日祝日におおむね月1回以上活動できる方
- のいち動物公園ボランティアーズへの入会が可能な方

【募集期間】 2月1日（土）～2月24日（月・休）

【説明会】 3月8日（日）13時～15時

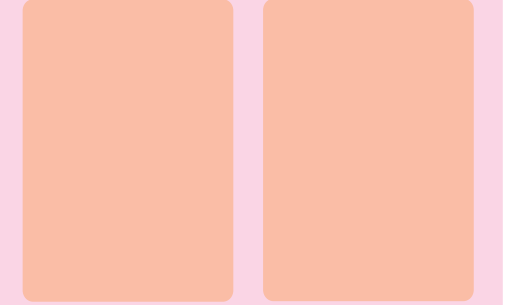
【研修】 3月15・22日(日) 10時～15時

※ボランティアによる研修です

【活動開始】 4月5日(日)

【問い合わせ先】 県立のいち動物公園　総務企画課　牛腸・井上 ☎56・3509

おたんじょうびおめでとう

今月満1～3歳の誕生日を迎えるお子さんを紹介します。

※Ⓨは土佐山田町、Ⓚは香北町、Ⓜは物部町です。

申し込みは誕生月の前月1日まで。
問 総務課 ☎53－3112

神氏ちゃん　2月　その150

もうすぐバレンタインだね
そうだね！
今年は何を作るの？
作らないよ
作らないの？
??
私、食べる専門だから！

（山田高校マンガ部）

第118回 かみかみクイズ

A．今年の全国統一防火標語は、『ひとつずつ ●●●！で確認　火の用心』

B．昨年リニューアルオープンした龍河洞、年間入洞者数が●年ぶりに12万人を超えました。

今月の賞品

全問正解者の中から抽選で合計3名様に贈呈！
※当選者は誌面で発表します

応募方法

ハガキまたはEメールで①クイズの解答②住所③氏名④昼間連絡がとれる電話番号⑤誌面の感想または市へのご意見を記入の上、応募してください。応募は1人1通とさせていただきます。

■応募締切　3月2日（月）必着

■あて先　〒782－8501（住所記載不要）香美市広報委員会事務局かみかみクイズ係
kamikami@city.kami.lg.jp

解答は、今月号の誌面にあるよ。携帯からメールで応募しよう。

©やなせたかし　しいたけ　たけちゃん

第116回当選者　小原初美さん・西村文野さん・大石明男さん（応募総数56通）

第117回の解答　A．観光大使　B．ながら

【問い合わせ先】総務課　☎53－3112

新　第17回　談議所の地名考察

香美史探訪記

物部川流域には、古い歴史を伝えるような地名がある。『神母ノ木』『談議所』『五百蔵』『日ノ御子』『清爪』『植山』『安丸』などは関心を引く地名である。

鎌倉初期、元地頭と思われる中原太郎秋家が山田に移ったのは、大忍庄の玄関口曽我郷よりも、韮生郷が発展していたためであると考えられ、韮生往還、鏡川（物部川）運航、舟入川の利用、逆川から野市地区へ出られる神母ノ木地区が山田の中心地であったと考えられる。

さて、『談議所』は舟入川や野市用水の水利権割合について、談議する建物が置かれた所であろうか、それとも、談議所にある『吉祥寺』の建物の一つで、僧の説法談議をする建物が在ったのであろうか。1286年（弘安九）7月、鎌倉幕府が鎮西談議所（合議制裁判所）を置いたことが知られており、談議所村と関連するように思われるが確認される物は無い。中原秋家が山田に移ったのは、物部川流域を管轄する郡裁判所の長官に任命されたと考えると合理的のようにも思える。

談議所は、陸路や水路の要地として、弥生時代から村が形成されており、栄えていたようである。山田氏が隆盛を極める室町時代中期、雪ヶ峰城が築かれた。築城年代は伝わらないが、水運、陸上交通、水利を抑える要地で、監視砦が置かれた山田郷の中心地ではないかと想像される。

貴船神社東側一帯は、最盛期に『吉祥寺』の七堂伽藍が建ち並んでいたと言われている。寺院を建設し経営するには、膨大な資金を要したことであろう。山田氏以外に有力者の名は知られていない。この寺を営む財源は、流域の杉や桧の建築材、屋根材の杮、冬の暖房炭、米、通行税や利用税などが考えられる。

山田氏は、元地頭（郡長相当）で、『儂の後には幕府のご意向があるぞ』と、横車も押したと思われる。諺に『泣く子と地頭には勝てぬ』とあるが、平安時代末、荘園経営は乱れ私腹を肥やす者も出たようで、荘園関係者の恨み節とも聞こえる。

山田氏が要所の談議所を抑え、楠目城下に移る時、一族の山田監物長秀を抑えに置いたと考えるがどうであろう。

（香美市文化財保護審議会・岡村）

▲神母ノ木から談議所方面を望む

ただいま留学中 No.153

曹力贤（ツァオ リシェン）
中国／珠海市

香美市の皆さん、大家好（ダーカーハオ）！

私は、高知工科大学特別研究学生の曹力贤です。コンピュータプログラミングを研究しています。趣味は旅行と日本文化の勉強です。

昨年9月に広東省珠海市から来ました。初めての海外生活ですが、高知なら日本の伝統的な文化や生活に触れることができます。

香美市にはおもしろい所がたくさんあります。そういう所を自分で発見したときは「お宝発見！」みたいな気持ちになります。冬の午後遅く、自転車で友達と隠れ家風レストランへ行きました。店は90年の歴史がある廃業した医院だそうです。スタッフは家族みたいにやさしくて、心が落ち着きました。柚子味ダイコン、味噌豆腐、ハマチの刺身、五穀ご飯、から揚げ、味噌汁、ナスとパプリカの漬物、ピーナッツ入りサラダなどを見て、うれしくなりました。

もう一つの宝物は、偶然見つけたコーヒーショップ。そこのコーヒーは、香りが良く苦みが少なくて、最高でした。

これからも香美市で私のお宝を探したいです。よろしくお願いします。

▲左から2番目が曹さん